

(別表－1) 割増対象賃金比及び1時間当り割増賃金係数 <令和4年3月から適用>

職 種	割増対象賃金比 (A)	1時間当り割増賃金係数		
		割増係数 1.25 (A)×1/8×1.25	割増係数 1.35 (A)×1/8×1.35	K 割増係数 0.25 (A)×1/8×0.25
特 殊 作 業 員	0.786	0.123	0.133	0.025
普 通 作 業 員	0.856	0.134	0.144	0.027
軽 作 業 員	0.903	0.141	0.152	0.028
造 園 工	0.777	0.121	0.131	0.024
法 面 工	0.827	0.129	0.140	0.026
と び 工	0.870	0.136	0.147	0.027
石 工	0.943	0.147	0.159	0.029
ブ ロ ッ ク 工	0.855	0.134	0.144	0.027
電 工	0.709	0.111	0.120	0.022
鉄 筋 工	0.886	0.138	0.150	0.028
鉄 骨 工	0.787	0.123	0.133	0.025
塗 装 工	0.814	0.127	0.137	0.025
溶 接 工	0.840	0.131	0.142	0.026
運 転 手 (特 殊)	0.805	0.126	0.136	0.025
運 転 手 (一 般)	0.828	0.129	0.140	0.026
潜 かん 工	0.884	0.138	0.149	0.028
潜 かん 世 話 役	0.652	0.102	0.110	0.020
さ く 岩 工	0.783	0.122	0.132	0.024
ト ン ネ ル 特 殊 工	0.958	0.150	0.162	0.030
ト ン ネ ル 作 業 員	0.948	0.148	0.160	0.030
ト ン ネ ル 世 話 役	0.959	0.150	0.162	0.030
橋 り ょ う 特 殊 工	0.885	0.138	0.149	0.028
橋 り ょ う 塗 装 工	0.895	0.140	0.151	0.028
橋 り ょ う 世 話 役	0.790	0.123	0.133	0.025
土 木 一 般 世 話 役	0.777	0.121	0.131	0.024
高 級 船 員	0.713	0.111	0.120	0.022
普 通 船 員	0.733	0.115	0.124	0.023
潜 水 士	0.826	0.129	0.139	0.026
潜 水 連 絡 員	0.904	0.141	0.153	0.028
潜 水 送 気 員	0.878	0.137	0.148	0.027
山 林 砂 防 工	0.809	0.126	0.137	0.025
軌 道 工	0.783	0.122	0.132	0.024
型 わ く 工	0.911	0.142	0.154	0.028
大 工	0.911	0.142	0.154	0.028
左 官	0.847	0.132	0.143	0.026
配 管 工	0.760	0.119	0.128	0.024
は つ り 工	0.868	0.136	0.146	0.027
防 水 工	0.796	0.124	0.134	0.025
板 金 工	0.809	0.126	0.137	0.025
タ イ ル 工	0.892	0.139	0.151	0.028
サ ッ シ 工	0.773	0.121	0.130	0.024
屋 根 ふ き 工	0.658	0.103	0.111	0.021
内 装 工	0.823	0.129	0.139	0.026
ガ ラ ス 工	0.747	0.117	0.126	0.023
建 具 工	0.787	0.123	0.133	0.025
ダ ク ト 工	0.749	0.117	0.126	0.023
保 温 工	0.768	0.120	0.130	0.024
設 備 機 械 工	0.745	0.116	0.126	0.023
交 通 誘 導 警 備 員 A	0.861	0.135	0.145	0.027
交 通 誘 導 警 備 員 B	0.903	0.141	0.152	0.028

< 参 考 >

— 割増賃金の計上が必要な場合の労務費（割増賃金を含む総額）の計算例 —

(1) 時間外

- ① 所定労働時間の8時間に加え、2時間の時間外労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合）

$$\text{労務費（総額）} = \text{単価} + \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 1.25 \text{ の場合の値）} \times 2 \text{ 時間}$$

- ② 所定労働時間の8時間に加えて4時間の時間外労働を行い、うち2時間が深夜の時間帯の場合

$$\text{労務費（総額）} = \text{単価} + \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 1.25 \text{ の場合の値）} \times 4 \text{ 時間} + \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 0.25 \text{ の場合の値）} \times 2 \text{ 時間}$$

(2) 休 日

- ① 休日に8時間の労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合）

$$\text{労務費（総額）} = \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 1.35 \text{ の場合の値）} \times 8 \text{ 時間}$$

- ② 休日に9時間の労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合）

$$\text{労務費（総額）} = \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 1.35 \text{ の場合の値）} \times 9 \text{ 時間}$$

- ③ 休日に10時間の労働を行い、うち2時間が深夜の時間帯の場合

$$\text{労務費（総額）} = \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 1.35 \text{ の場合の値）} \times 10 \text{ 時間} + \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 0.25 \text{ の場合の値）} \times 2 \text{ 時間}$$

(3) 深 夜

- ① 所定労働時間8時間の労働を行い、うち3時間が深夜の時間帯の場合

$$\text{労務費（総額）} = \text{単価} + \text{単価} \times K \text{（割増係数 } 0.25 \text{ の場合の値）} \times 3 \text{ 時間}$$

※割増係数は、労働基準法第37条第1項及び第4項に規定されている時間外、休日及び深夜の割増賃金の計算に用いる率の最低限度に基づくものとする。